

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	宇部市役所	代表者名	篠崎 圭二
担当者部署	市民環境部	連絡先電話番号	0836-34-8065
担当者役職	課長	担当者氏名	民谷 有弘
住所	755-8601 山口県宇部市常盤町一丁目7番1号		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	令和5年7月14日に来庁して指導・助言された案件に対する進行管理にプラスして、窓口業務などの業務全体についても指導・助言をもらえた。
アドバイザーへの要望事項	会議録をおこし年度末までの工程表を作成していくので、協議内容の確認をお願いします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年10月10日	フォローアップ(実地)	有	令和5年7月28日	810
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年10月30日	支援・助言（実地）	9時30分	17時15分	60
				活動時間（分）	405
3-2. 派遣場所	会場名	宇部市役所	最寄駅	琴芝	
	所在地	山口県宇部市常盤町一丁目7番1号	最寄駅からの交通手段	徒歩（公用車で送迎）	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-goc
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員（マイナンバーカード推進課、市民課）	10人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	令和5年10月末で、マイナンバーカードの保有枚数率は73.9%でした。まだ、申請していない残りの層に対して、令和6年度も継続した申請の促進策が必要です。また、2026年以降からの更新等の事務処理の増加などにも対応できるようバックヤードの見直しも必要です。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	宇部市の実情にあった施策での保有枚数率の向上させ「行かない市役所」を目指していく。デジタル社会の基盤であるマイナンバーカードが普及促進することで、多くの市民がデジタル化の恩恵を受けられ、個々の市民に適した施策や事業展開が可能となる状態を目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・大型商業施設でのマイナンバーカード出張申請支援の方法 ・ウェブサイトの見せ方 ・オンライン手続き窓口のあり方 ほか28項目	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	アドバイザーに支援を受けた内容について、5年度の後半もロードマップを作成して順次取り組んでいく。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加者が担当職員だけだったため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	マイナンバーカードの保有枚数率を向上させることで、デジタル化により市民の手続きの負担軽減を図るとともに、職員の業務効率化を実現する。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

